

春季リーグ開幕

仙台六大学野球

仙台六大学野球春季リーグ(仙台六大学野球連盟、東北放送、河北新報社主催)が11日開幕し、仙台市青葉区の東北福祉大球場で開会式があった。

6校の選手がグラウンドに整列し、昨秋優勝の福祉

大の小山凌暉主将(4年)が優勝旗を返還した。東北工大の千葉周永主将(4年)は「リーグ戦に向けて日々努力を重ねてきた。支えてくださる方々へ感謝の気持ちや、対戦相手への敬意を忘れず、最後まで全力で戦



開会式で選手宣誓する東北工大の千葉主将

い抜く」と選手宣誓した。仙台六大学野球連盟の駒場彰理事長は「明るく、元気に、最後に笑えるゲームを期待する」とあいさつし

た。引き続き開幕試合の福祉大―宮城教育大があり、折立ジャガーズ(仙台市)の小島颯太さん(12)と佐藤樹

さん(11)のバッテリーが始球式に臨んだ。春季リーグは5月24日まで全7節で争われる。